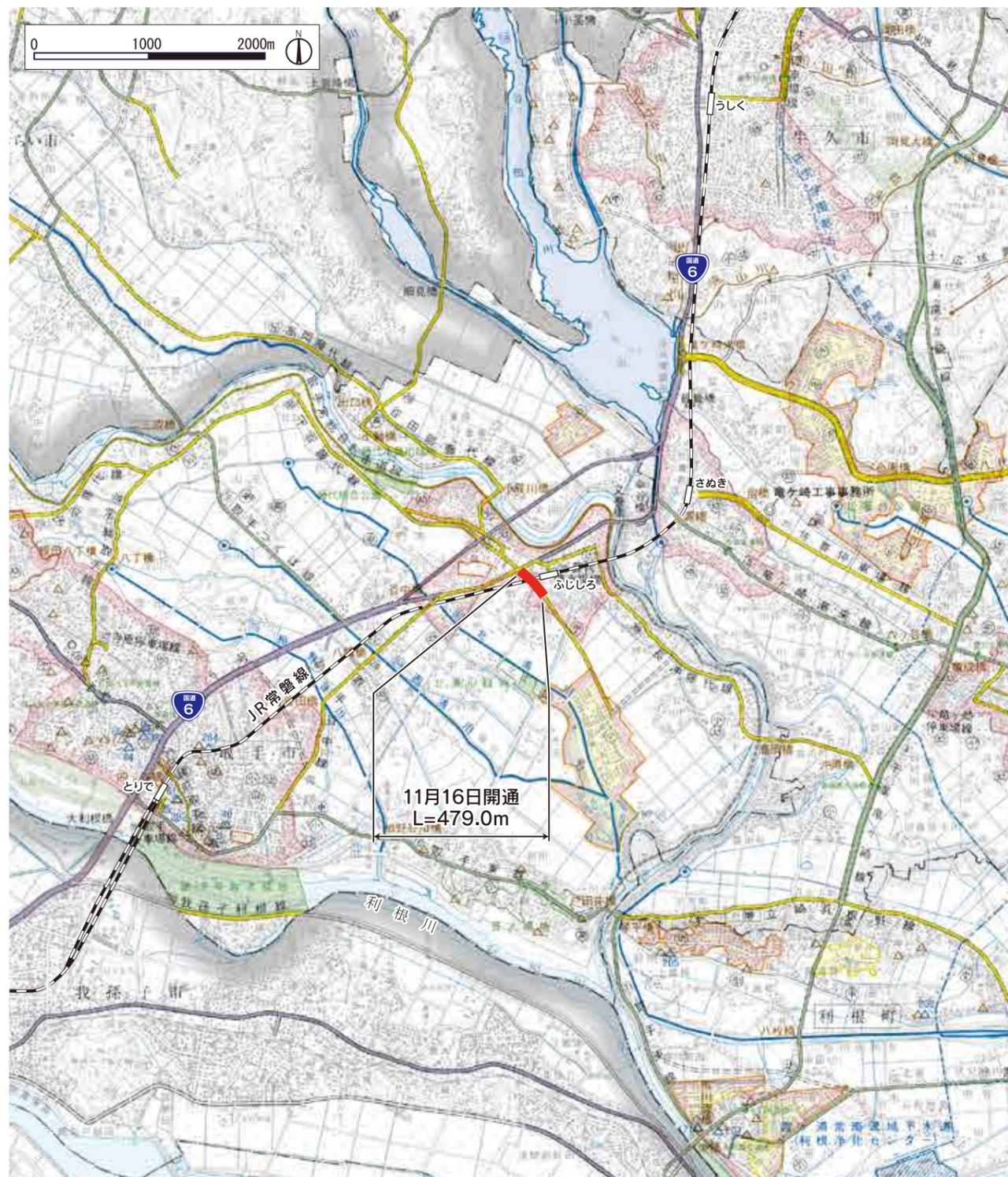


路線位置図



都市計画道路 中内大塚線 【藤代陸橋】

開 通

平成24年11月16日(金)

取手市藤代～藤代南



茨城県土木部都市局公園街路課

〒310-8555 水戸市笠原町978番6
電話 (029) 301-4660

茨城県竜ヶ崎工事事務所

〒301-0007 龍ヶ崎市馴柴町35
電話 (0297) 65-3411

 茨城県

事業の概要

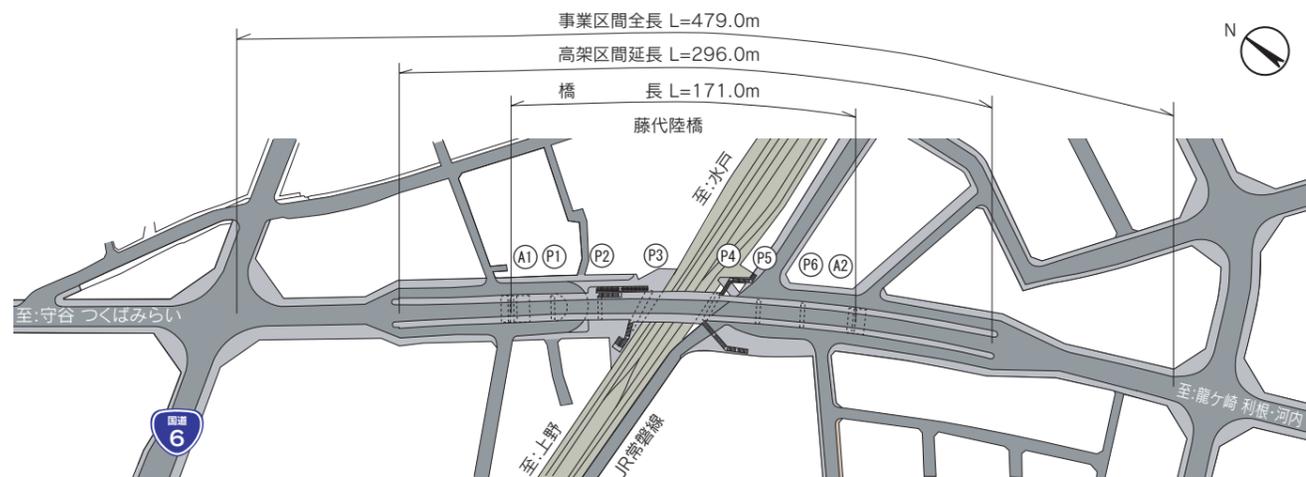
取手市の藤代市街地はJR常磐線の北側を走る国道6号を中心に発展してきており、近年、藤代駅南側の区画整理事業や桜が丘団地の造成によって、駅周辺の発展の基礎が整いつつあります。

しかしながら、街の南北を結ぶ道路は狭い路地や踏切のため、朝夕のラッシュ時に慢性的な渋滞が見られるとともに、緊急の防災活動などにも支障を来す恐れがありました。また、このことが、街の均衡ある発展を阻害する要因となっていました。

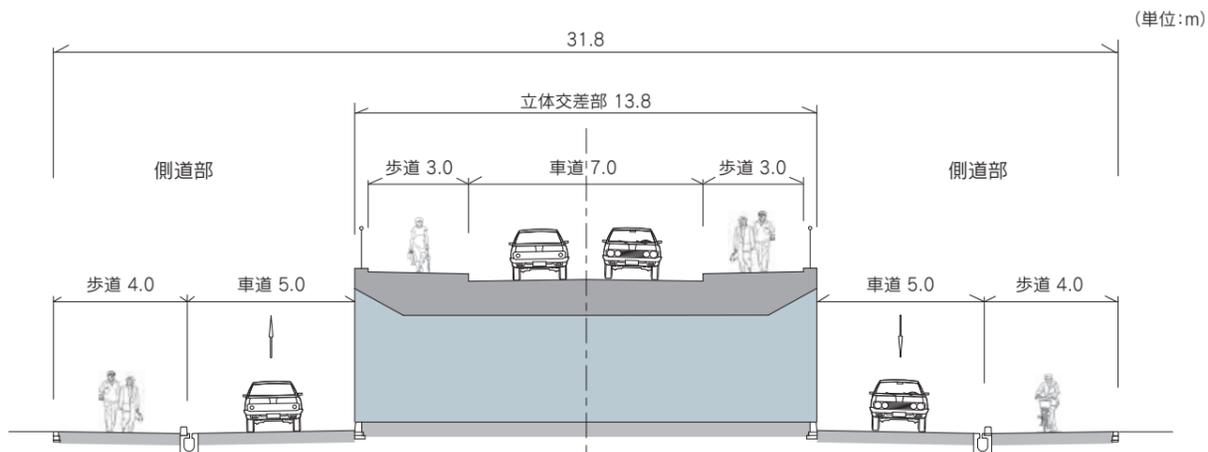
特に、JR常磐線新田踏切は朝夕の渋滞が著しく、これを解消するために平成9年度に藤代陸橋を含む延長479m区間の事業認可を得て、新田踏切の立体化事業に着手しました。

このたび、この区間の開通により、街の南北が結ばれることになり、安全で快適な都市生活が営まれ人々の交流と街の均衡ある発展が進むことが期待されます。

路線概要図



標準横断面図



路線の概要

種別：都市計画道路 中内大塚線（一般県道 長沖藤代線）

計画延長：事業認可区間延長 L=479.0m
 （高架区間延長 L=296.0m、橋長 L=171.0m）

道路規格：4種2級

設計速度：V=50km

幅員：W=17.0/6.0(側道含め31.8m)

事業期間：平成9年度～平成24年度

事業の効果

①まちの分断が解消され、南北市街地の一体化が図られます。

藤代陸橋の完成により常磐線により分断されたまちの北側と南側の交流や、人の移動が活発になると予想されます。



②踏切を通らずに市街地南北の円滑な移動が可能になります。また、緊急活動の円滑化が図られます。

〈新田踏切の現状〉

《整備前》

踏切遮断時間

6時間/日 → 0分

踏切で遮断される交通量

約1000台/日 → 0台

《整備後》

③踏切事故の可能性がなくなります。

〈全国(H22)の踏切事故の状況〉

事故件数303件/1年間

死傷者数192人/1年間

整備前(新田踏切の渋滞状況)



※藤代陸橋の開通と同時に新田踏切は閉鎖されます。